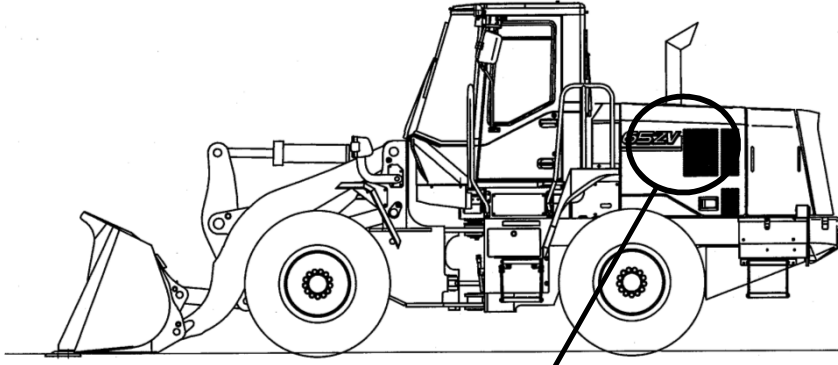


改善箇所説明図



改善前	改善後
<p>不具合発生箇所</p> <p>消音器(マフラ)</p> <p>③.原動機付属ブラケット亀裂</p> <p>②.排気管亀裂 (基準不適合発生箇所)</p> <p>①.消音器取付ブラケット固定ボルト折損</p> <p>原動機付属ブラケット</p> <p>ショベルローダの消音器において、取付ブラケット、固定ボルト及び原動機付属ブラケットの強度が不足しているため、固定ボルトが折損したり、原動機付属ブラケットに亀裂が発生する場合があります。また排気管と取付ブラケットの組立のばらつきにより、排気管に亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、消音器の振動により排気管等が損傷するおそれがある。</p>	<p>②-1 シム調整</p> <p>②-2</p> <p>部品d</p> <p>部品b</p> <p>③、部品c</p> <p>①、部品a</p> <p>交換部品 部品a, b, c, d 及び 排気管</p> <p>改善措置の内容: 全車両、固定ボルト、原動機付属ブラケット及び取付ブラケットを対策品に交換する。</p> <p>①.消音器取付ブラケット固定ボルト折損対策 (部品a) : ボルト強度アップ→強度区分8.8⇒10.9 : 軸力低下量の低減→スペーサ追加による伸びボルト化</p> <p>②.排気管亀裂対策 (部品b, c, d) -1: 無理付け防止→消音器とブラケット間にシム挿入調整 -2: 部品精度向上→ブラケット締結面に機械加工追加</p> <p>③.原動機付ブラケット亀裂対策 (部品c) : ブラケット強度アップ→ブラケット固定位置変更と構成変更</p>